

- 【名 称】 米沢SDGsカンファレンス  
 ～ローカルSDGsのプラットフォームづくり～
- 【開催日時】 2022年11月28日（月）19:00～20:30
- 【形 式】 Zoomウェビナー
- 【参加費】 無料（要・事前登録）
- 【主 催】 米沢市
- 【後 援】 内閣府 環境省
- 【事前周知】 市HP、市SNS（LINE、Twitter、facebook）、  
 関係機関等へのメール、PRTIMESへの掲載等

区分	出席者数
事前登録者数	80名 (米沢市43名、米沢市外37名)
PRTIMESページビュー (R4.11.11～R4.11.28)	5,129件
PRTIMES転載サイト	25件

# プログラム

time	内容	
19:00 ～ 19:10	開会挨拶 「米沢SDGsのビジョン」 中川 勝（米沢市長）	
19:10 ～ 19:30	キーノート 「SDGsプラットフォームづくりのKSF」 谷中 修吾（BBT大学 経営学部 教授/BBT大学 大学院 経営学研究科 MBA 教授）	
19:30 ～ 19:40	プラクティスタALK（1） 「こだわりの米粉メニューを通じたローカルSDGs」 志賀 しず香（KOMFORTA 代表）	
19:40 ～ 19:50	プラクティスタALK（2） 「牧場からスタートした米沢の循環型SDGs ～酪農、バイオガス発電、堆肥づくり、野菜づくり～」 濱田 篤（はまだ牧場 代表/株式会社リアクト米沢 代表取締役）	
19:50 ～ 20:00	協議会TALK 「SDGs推進協議会の立ち上げストーリー」 尾崎 悠樹（米沢市 企画調整部政策企画課 企画調整主査）	
20:00 ～ 20:10	政策TALK 「環境省が推進する地域循環共生圏づくり」 佐々木 真二郎（環境省 大臣官房地域政策課 地域循環共生圏推進室長）	
20:10 ～ 20:15	パースペクティブTALK 「米沢SDGsの展望」 伊藤 夢人（米沢市 SDGs 推進参与）	
20:15 ～ 20:30	クロスTALK 「ローカルSDGsのプラットフォームづくり」	
20:30	閉会	

【周知サムネイル】

**米沢市 YONEZAWA SDGs CONFERENCE**

SDGs未来都市の米沢は、いかにしてローカルSDGsプラットフォームを立ち上げたのか？

【対象】SDGsプラットフォームづくりに取り組む皆様を歓迎します **2022.11.28(月) 19:00-20:30 @Zoomウェビナー**

尾崎悠樹 米沢市 政策企画課 主査  
 伊藤夢人 米沢市 SDGs推進 参事  
 佐々木真二郎 米沢市 地域振興 参事 生涯学習 課長  
 中川勝 米沢市長  
 谷中修吾 BBT大学 教授  
 志賀しず香 KOMFORTA代表  
 濱田篤 はまだ牧場 代表

【市公式LINE】



【市公式Twitter】



【市公式Facebook】



## 【事前リリース】

## 【事後リリース】

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES  
 Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

### SDGs未来都市の山形県米沢市が「SDGsカンファレンス」募集開始！内閣府と環境省の後援により、ローカルSDGsのプラットフォームづくりの実践ノウハウを公開

Zoomウェビナーによるオンライン開催で日本全国から参加者募集

米沢市企画調整部政策企画課

2022年11月11日 11時21分



内閣府「SDGs未来都市」と環境省「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」に選定された自治体としてSDGsを推進する山形県米沢市（市長：中川勝）は、2022年11月28日（月）夜、内閣府と環境省の後援による「米沢SDGsカンファレンス」をオンライン開催します。ローカルSDGsのプラットフォームづくりをテーマとして、その実践ノウハウを公開するカンファレンスです。ゲスト登壇者には、BBT大学 教授の谷中修吾氏、環境省 地域循環共生圏推進室長の佐々木真二郎氏を迎え、米沢市内の実践的な取組からKOMFORTA 代表の志賀しず香氏、はまた牧場 代表の清田瓜氏を招聘するとともに、本市よりSDGs推進参与の伊藤夢人、政策企画課の滝崎悠樹が登壇します。全国各地でSDGsプラットフォームづくりに取り組む皆様のオンライン参加を歓迎し、東北のSDGs未来都市である米沢市が経験したプラットフォームづくりの知見を共有します。



地球規模で環境問題が深刻化し、SDGsの達成に向けた取組が急務となる中で、日本全国の地域の現場では「SDGsプラットフォームづくり」が求められています。一方で、様々なステークホルダーを連携したプラットフォームづくりの実践ノウハウは、分かりやすく社会に共有されていないのが現状です。

その社会情勢の中で山形県米沢市では、令和3年に内閣府「SDGs未来都市」と環境省「地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創成に取り組む活動団体（以下「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」）」の選定を契機として米沢市SDGs推進協議会を設立し、1年半にわたってSDGsプラットフォームづくりを推進してきました。

試行錯誤の現状も含めて実践ノウハウを日本全国に共有することで、SDGsプラットフォームづくりに取り組む皆様と相互に発展し得ると考え、米沢SDGsカンファレンスをオンライン開催します。

Zoomウェビナーによる配信のため、日本全国から参加可能です。

行政、企業、NPO、研究機関など、様々な立場でSDGsプラットフォームづくりに取り組む皆様のオンライン参加を歓迎します。

▼キーノート「SDGsプラットフォームづくりのKSF ～マルチステークホルダーをつなぐ秘訣とは？～」  
 谷中 修吾（やなか・しゅうご） | BBT大学 経済学部 教授 / BBT大学大学院 経営学研究科 MBA 教授



全国のSDGsプラットフォーム取組事例を紹介したBBT大学教授の谷中修吾氏

令和3年度から米沢市でSDGs推進協議会のアドバイザーを務めるビジネス・ブレイクスルー大学の谷中修吾教授が「SDGsプラットフォームづくりのKSF（キーサクセスファクター）」と題して基調講演を行いました。日本全国のSDGsプラットフォームづくりの事例を解説するとともに、米沢市の取り組みを取り上げながらローカルSDGsの構想策定プロセスを明らかにしました。

谷中教授は、地域の中でどのような方向を目指してSDGsの場づくりをするのかという構想を持つことが重要であると説き、「事業計画のような固いものではなく、みんながワクワクするような『こうなったらいいね』『これは面白そうだね』というビジョンを共有することがプラットフォームづくりの秘訣です」と話しました。

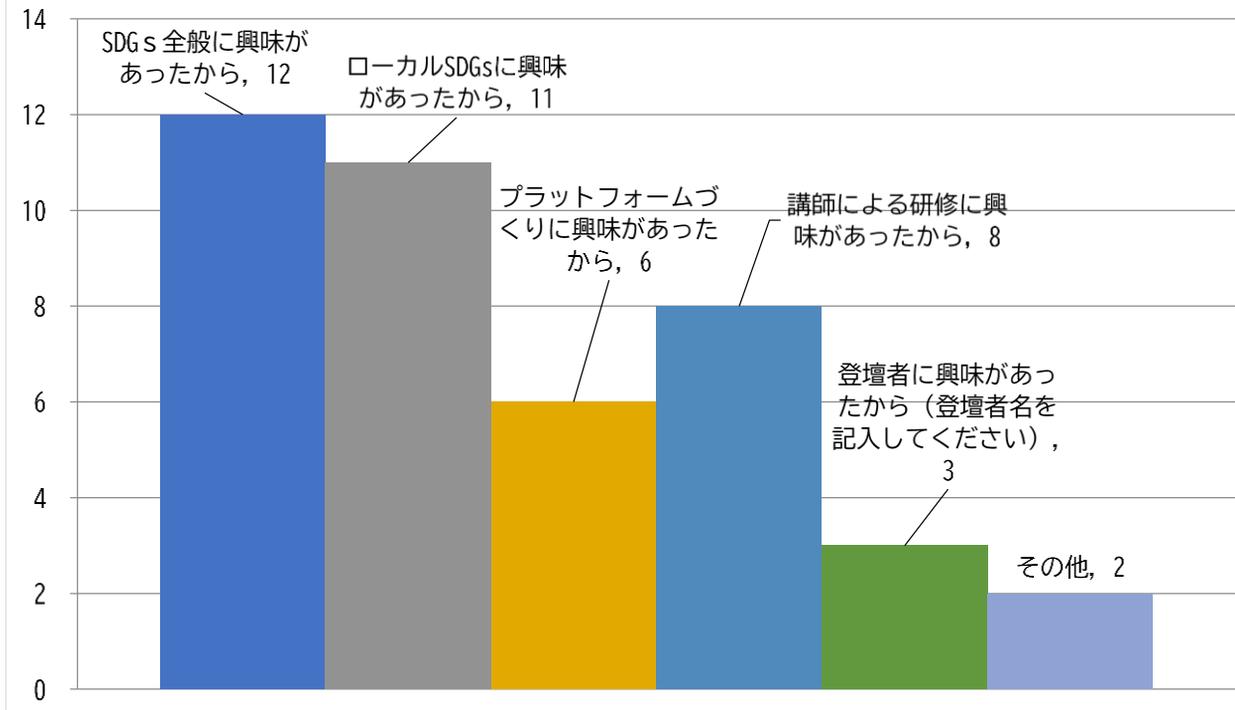
▼プラクティスTALK①「こだわりの米粉メニューを通じたローカルSDGs」  
 志賀しず香（しが・しずか） | KOMFORTA 代表



# アンケート

Q4 研修に参加した動機をお答えください。

単位：人

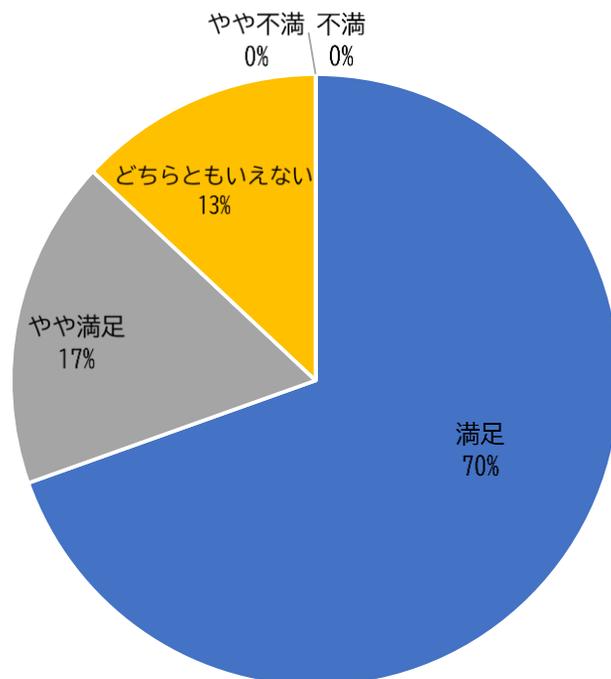


【興味があった登壇者】はまだ牧場・濱田篤氏（1）米沢市政策企画課・尾崎悠樹企画調整主査（2）

【その他】業務上必要だった

台湾とのコラボを模索するため

Q5 カンファレンスについて、どのくらい満足されていますか。



# アンケート

項目	Q6 カンファレンスについて、Q5と回答した理由をお書きください。		
回答	1	満足	動画やスライドを交えて話されていて、聴いていて飽きませんでした。
	2	満足	米沢でどの様に取り組んでいるのかが、各担当者から分かりやすく説明があり、理解しやすい内容だった。
	4	やや満足	各講師の講演時間が短いので、じっくりお聞きしたかった。
	5	満足	各々の立場の方から、意義のある話を聴けた。
	6	満足	米沢市でSDGsに取り組む事業者の事例を聞いた
	7	どちらとも いえない	内容に新しさがなく、これまで何回か聞いた内容でした。
	8	やや満足	時間が少し短く、もう少し深掘りの時間があった方が良かった。
	9	満足	内容が分かりやすく、事例も大変面白かった。
	10	満足	時間が短く感じました。大変おもしろかったです。 地域で活動されている皆さんを応援したいと思います。
	11	満足	SNS、各メディア等でも様々な取り組みが発信されているが、実際の企業ベース（中小）としてどのように進めていくべきか悩んでいました。今回のカンファレンスの中で、各企業様の取り組み、具体案やアイデア等が参考になった。
	12	やや満足	登壇者の方がzoom使用方法で不慣れな場合もあるので、事前テストなどしていれば、もう少しスムーズに進行できると思いました。（特に不特定多数の方が参加する場合）
	13	満足	現在台湾在住ですが、母の実家が米沢のため、以前から興味がありました。米沢の取り組みを知らなかったため、参考になった。現在台湾も日本に倣って地方創生に取り組んでおり、来年からは海外との事業コラボ創出を目標にしています。今後も情報を定期的に知る機会があると嬉しいです。
	14	満足	SDGsの取組についてカンファレンスを通して詳しく知ることができてよかったです。また全国の事例についても知るいい機会になりました。
	15	満足	米沢市でも先進的な取組をしている企業があることを知ることが出来ました。
	16	満足	谷中先生をはじめ、登壇された皆様のお話がすごく興味深く感じた。国からの目線や、地域のプレーヤーからの目線など、様々な考えや事業の推進方法をお伺いできた。

項目	Q7 カンファレンスに参加されて、気づきのあった点、または学びにつながった点があればお書きください。	
回答	1	企業さんの取り組みを改めて知り応援したいと思います。小さな事でも自分にも出来ることがあるか考えるきっかけになりました。
	2	具体的事例の紹介があり、興味深く、楽しく見る事が出来た。
	3	環境省佐々木様のご講演は、これまで理解していたつもりでいた地域循環共生圏のとらえ方や持続化可能な社会の姿を明確にさせていただき、ありがとうございました。とても意義深い研修になりました。佐々木様のご講演をまたお聞きしたいです。
	4	ローカルSDGsは、社会と経済と環境の歯車で

# アンケート

回答	5	SDGs に関する復習と確認
	6	プラットフォーム作りは非常にいいことですし、集まりやすい機会を作っていただき沢山の情報交換ができると取り組みが加速していくのではと感じました。
	7	仲間づくり、同業者や異業種間の交流が必要であることを再確認しました。
	8	各地域の活動を知ることができて、大変参考になりました。
	9	開催お疲れ様でした。 立場が違う複数人が意見を交えることで、様々な角度からのお話を聞くことができた貴重な機会でした。特に、現場で活動を実践する企業側が行政に求める事について、実践に繋がれそうな具体的な意見が挙がっていた事が興味深かったです。
	10	はまだ牧場の家庭ゴミを分別し、ポイント化とか、とても良いアイデアだと思いました。
11	地域のプレーヤーを発掘することも大事だが、今回登壇いただいた志賀さん、濱田さんのご意見にもあるようにつながりを持ってもらい、そこからの波及等が求められており、現場の声を大事にする必要があると実感いたしました。	

項目	Q8 その他、米沢市 SDGs 推進全般に関して、ご意見やお問合せ等があればお書きください。	
回答	1	これからも頑張ってください！
	2	米沢らしさが欲しいです。
	3	カンファレンスに参加させていただきありがとうございました。
	4	登壇者の熱意ある説明に感動しました。 このような会がいろいろな地域で開催されれば多くの賛同者や応援団も増えるかと思います。多くの事業者様を集めて屋台感覚で楽しめれば面白いかもしれませんね。 今回、事業者の方々の説明で「あ、そんなことやってるの、面白そう、食べてみたい、飲んでみたい」と思いました。宣伝効果はかなりあったかと思います。 米沢に行くきっかけができました！！ ありがとうございました。
	5	SDGs 活動だけに限ったことではないですが、今回お話しがあった通り、結局人と人との関係づくりをどう展開するかがポイントになるので、そういった環境を整備・構築していくことが活動推進に繋がると思います。
	6	濱田さんの「市役所は入りにくい」という話、私もそう思いました。 セミナーもそうですが、先進的なSDGsの活動している企業を集めてイベントやると、企業や団体のつながりと市民へのPRにも繋がるのではと思いました。（すでにやってたらすみません）